



Guts! 通信

横浜市政レポート

横浜市議員（戸塚区選出）

坂本勝司 市政報告 2024年9月号

発行責任者：坂本勝司事務所

★戸塚のために★ 横浜市議員 坂本勝司

<<いざという時のために！地域の避難場所をチェックしましょう！>>



1923年（大正12年）9月1日11時58分に発生した関東大震災によって南関東中心に大きな被害をもたらした地震災害から101年。死者・行方不明者は推定10万5,000人で、明治以降の日本の地震被害としては最大規模の被害となっており、9月1日は防災の日として過去災害を教訓に地域・家庭の安心と安全を見直す大切な日です。今月は各地域でも防災訓練など開催されますので、確認のためにも訓練への積極的な参加をお願い致します。

【戸塚区】地域防災拠点 35か所

番号	学校名	所在地
1	名瀬小学校	名瀬町 776
2	名瀬中学校	名瀬町 791-6
3	川上北小学校	川上町 63-1
4	東品濃小学校	品濃町 559
5	品濃小学校	品濃町 504-1
6	平戸小学校	平戸町 542
7	平戸台小学校	平戸町 1165
8	境木中学校	平戸 3-48-2
9	上矢部小学校	上矢部町 1463-4
10	川上小学校	秋葉町 203-2
11	秋葉小学校	秋葉町 392-1
12	柏尾小学校	柏尾町 1317
13	鳥が丘小学校	鳥が丘 53
14	矢部小学校	矢部町 1698
15	東戸塚小学校	吉田町 88
16	舞岡中学校	舞岡町 226
17	舞岡小学校	舞岡町 534
18	南舞岡小学校	南舞岡 4-15-1
19	汲沢小学校	汲沢 3-6-1
20	東汲沢小学校	汲沢 1-16-1
21	戸塚中学校	戸塚町 4542
22	戸塚小学校	戸塚町 132
23	南戸塚小学校	戸塚町 2790-3
24	南戸塚中学校	戸塚町 1842-1
25	倉田小学校	上倉田町 1426-6
26	豊田中学校	下倉田町 950
27	汲沢中学校	汲沢町 550-2
28	深谷小学校	深谷町 1688-2
29	横浜深谷台小学校	深谷町 1312-1
30	深谷中学校	深谷町 1071
31	大正小学校	原宿 4-17-1
32	大正中学校	原宿 4-12-1
33	小雀小学校	小雀町 1845
34	東俣野小学校	東俣野町 1103-1
35	下郷小学校	戸塚町 2447-2

■地域防災拠点とは、地震などで家が倒壊したり焼失したりして住む場所がなくなった人が、一定期間避難生活を送る場所です。食料・飲料水や生活用品、防災資機材などが備蓄されています。また、救援物資もこの地域防災拠点に配送されることになっているため、拠点以外で避難生活を送る被災者も、ここで物資や情報を受け取ることができます。

○風水害時に開設する避難場所

風水害時は、土砂災害や洪水等、災害が発生する恐れがある地域に対し、避難情報（高齢者等避難、避難指示）を発令します。該当地域に近い小中学校及び地区センター等を避難場所として選定し、開設します。開設・運営については、区役所職員が行います。

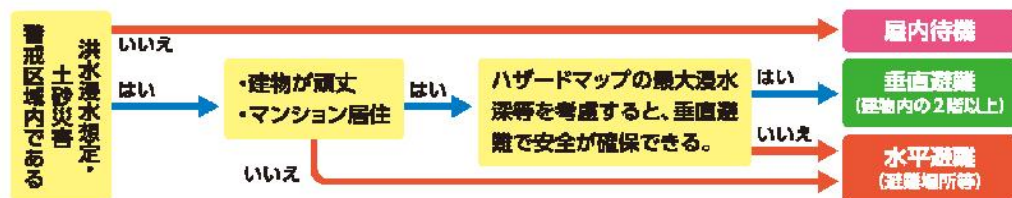
○地震時（市内震度5強以上）に開設する避難所（地域防災拠点）

市内で震度5強以上の地震が発生した場合に、区内35箇所の避難所（地域防災拠点）が開設されます。開設・運営については、地域の方々を中心とした、地域防災拠点運営委員会が実施します。

●近隣の高い建物へ避難

●自宅等の今いる建物内の2階以上へ避難

●安全な場所へ避難（指定緊急避難場所等の避難場所、土砂災害警戒区域及び浸水想定区域外の親戚の家など）



○風水害（土砂災害・大型台風・洪水）で開設が予想される避難場所については左記←のQRコードより確認ください。

※各地域にて避難時に河川や冠水しやすい場所を渡るようなことは避け、より安全な場所を確認下さい。

★戸塚区ホームページよりデータ掲載

坂本勝司活動アルバム

地域で見かけましたら是非お声掛け下さい！

◆毎週月曜日・火曜日 駅頭活動実施中！ ◆支援する会行事企画・実施 ◆地域行事・区行事参加 ◆消防団活動 ◆各種スポーツ応援



※ 地域改善活動：道路の整備・改善、急傾斜地対策、住宅問題、河川環境、草除去 等々 地域のご相談は坂本事務所まで！

お問い合わせ：坂本勝司事務所 045-869-0702まで



★横浜新道上り線渋滞解消に向けて3車線化へ (川上 IC～新保土ヶ谷 JCT)★

戸塚区を縦断する国道1号線。そのバイパスとして横浜新道があり、戸塚から保土ヶ谷バイパス、横浜横須賀道路、第3京浜、首都高、湾岸線などと結ばれる大動脈です。2022 年度時点で 1 日あたり交通量は 12 万台近くにのぼります。

この横浜新道は、「緩やかなダウン・アップ」が多く続くことから、連日、朝夕を中心に渋滞が発生します。そこで、この個所も含め神奈川県内の渋滞ポイントなど、国土交通省 横浜国道事務所において検討が進められ、2024 年 3 月 4 日の「神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ」6 回目の会議において改善内容が纏められました。

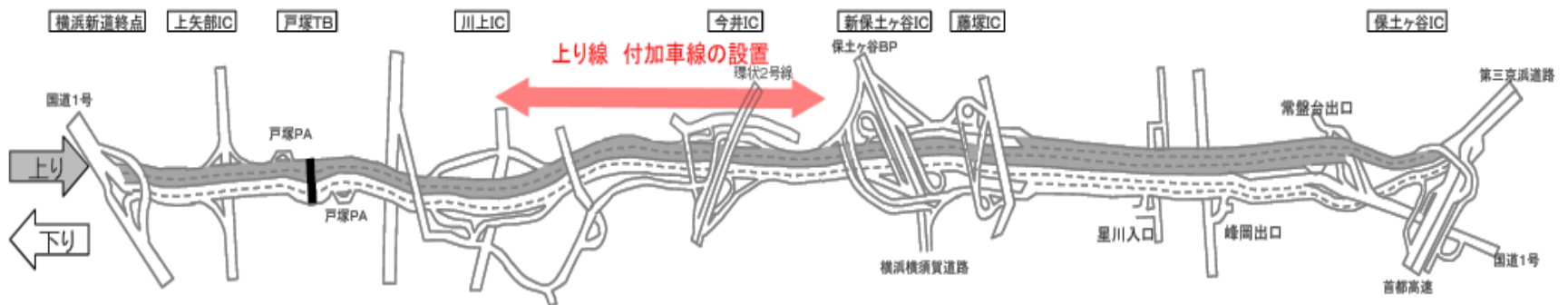
横浜新道上り線の渋滞対策としては、川上 IC から新保土ヶ谷 JCT に至る約2kmに「付加車線」つまり「3 車線目」を新設する改善となります。いよいよ事業が開始され、工期2025年11月末完成に向けて進められます。事業中のご協力を宜しくお願い致します。



※神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ」6 回目の会議資料より

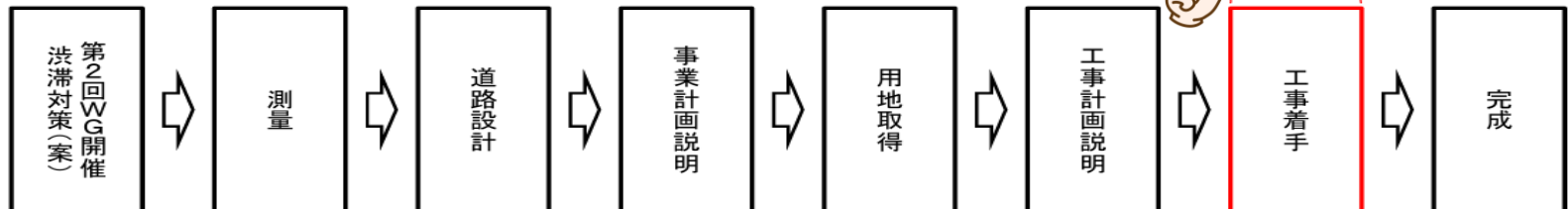


★今井 IC 付近や川上 IC 付近のダウン・アップ部を先頭とする渋滞の発生回数が多く、戸塚料金所から新保土ヶ谷 IC 間で速度低下 を観測



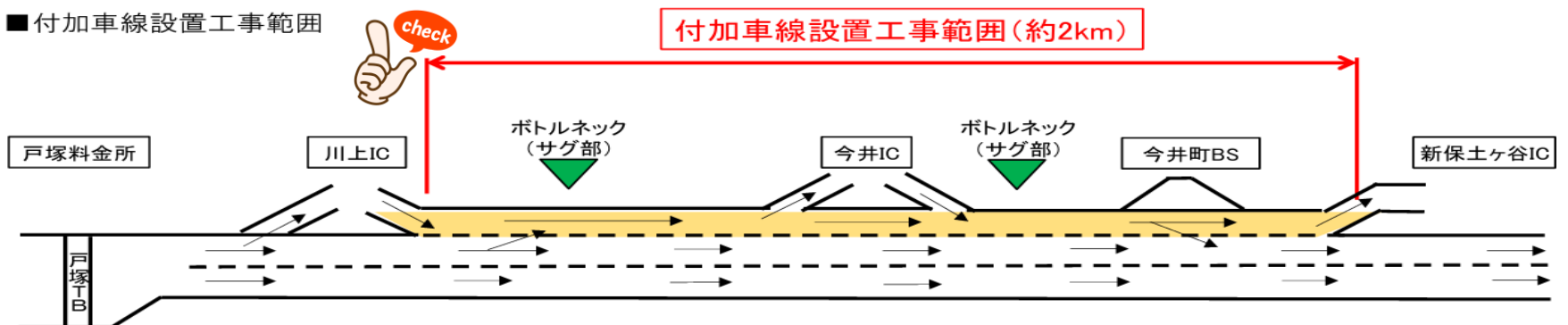
■事業の流れ

H28.2



※R2.3 第5回WGで進捗状況の報告を実施

■付加車線設置工事範囲



※サグ部:下り坂から上り坂へと変化するポイント